

Topics 「高校生のための独占禁止法教室」

12月6日(木)の7限に1年生を対象に「独占禁止法教室」を開催しました。講師は公正取引委員会中部事務所の9名の職員の方々に、今回の特別講座のために名古屋から来ていただきました。現代社会の授業での知識もあり、生徒の皆さんも興味を持って取り組んでいました。またグループワーク、ゲーム形式など工夫を凝らした展開に、どのクラスでも元気な声が響いていました。



講師の先生方の説明に熱心に耳を傾ける生徒の皆さん。中には積極的に発言する人も。



クラスの仲間や講師の先生から注目されながら、グループで話し合った結果をまとめて発表するリーダー。

生徒の感想

今まで授業やニュースだけで聞いていた言葉が、今日の講座によりとても身近にあるものなのだなあと感じました。私たちが、普段の生活で適切な値段の商品を買うことができるのも、身近にある法律や組織で働く人々のおかげであると知ることができました。これからは、今まで以上に様々なことを考えられる消費者になりたいと思います。

公正で自由な消費生活をするために、公正取引委員会の人たちが監視していることに感謝しないといけないと思いました。企業の利益ばかり考えるのではなく、社会全体のことを考え価格を決めることが大切だと思いました。

現代社会の授業で何となくは理解していたつもりでしたが、今回より詳しく学ぶことができたので、参加してよかったと思いました。普通の生活では、「この企業はカルテルをしている」と考えることはまずないので、今後はニュースなどを見ても、より身近に考えられるようにしたいです。

独占禁止法や公正取引委員会について詳しく知ることができました。また、どうすれば、他の企業より商品を多く売れるのか実際に考えてみて、企業人がいかに真剣に経営戦略を練っているのかを実感することができました。

公正取引委員会の活動によって消費者のよりよい日常生活が守られていることや、身近な企業も取り締まりを受けていることを知り、とても興味深い話ばかりでした。ありがとうございました。

現代社会の授業のプラスαで学ぶことができたと感じました。難しい内容もありましたが、とてもわかりやすく説明いただき、理解することができました。これからは、市場経済に関わる消費者として、学んだことを意識して生活したいと思いました。

実際に自分たちで考えてみて、競争についてよく知ることができました。こうした競争があるからこそ、私たちにより安全なそして質の良い商品が提供されていることを改めて感じるとともに、その難しさを知りました。公正取引委員会がとても大切な役割を果たしていることもわかりました。これからもこうしたことに興味を持っていきたいと思います。

実際にゲームを通して学ぶことができ、楽しかったです。会社の利益を考えながら市場競争することの難しさもわかりました。また、立ち入り検査などのリアルな話も聞けて面白かったです。